



つながりタイ新聞



あなた
の地域で
若者が輝く未来、
どう描く？
—重要伝統建造物群保存地区の新陳代謝について—

VOL.
25
2024.9

どこでなにしてる？ 地域おこし協力隊コラム

「地域おこし協力隊」から
「地域プロジェクトマネージャー」へステップアップ！



今回の担当：赤村・柴田和輝

私は現在、赤村の「源じいの森」という複合レジャー施設で、地域プロジェクトマネージャーとして、支配人という役職で活動しています。（協力隊卒業に伴い、新聞部も卒業することになりました！）

地域プロジェクトマネージャーは、総務省が約3年前に開始し、まだ全国で100名ほどしか着任していない、伸び代のある制度です。自治体が設定した「地域を活性させる重要プロジェクト」に、リーダー（管理職）として着任し、行政・地域住民・専門家などの橋渡しを行うことで、プロジェクトを成功に導くことが期待されています。私の場合は、源じいの森の従業員が働きやすくなるような環境整備やチーム作り、そして収支の改善が大きなミッションとなっています。

協力隊時代とは異なる視点で物事を見るようになったり、報酬や裁量も大きくなるため、将来的に経営やマネジメントの仕事を考えている協力隊にとっては、地域プロマネ制度の活用はかなりオススメだと感じています。皆さんも、卒業後のキャリアの選択肢に入れてみてはいかがでしょうか？



地域プロジェクト
マネージャーについて
（総務省ホームページ）

発行元 福岡県地域おこし協力隊新聞部

市町村の枠を超えて集まった、福岡県内の地域おこし協力隊。自分の地域のおもしろいコト、お隣の地域のおもしろいヒト、遠く離れた地域のおもしろいモノ……。地域にとらわれず、さまざまなモノコトを発信します。

Instagram



つながりタイ新聞
つながりタイ新聞は、現在、当ペーパーの発行と、Instagramをメインに活動しています。自分たちの活動のみならず、福岡県で活動しているさまざまな市町村の地域おこし協力隊の情報を発信しています！



ふくおか協力隊図鑑
「ふくおか協力隊図鑑」とは、福岡県内の現役地域おこし協力隊・OB/OGの活動内容や自己紹介をまとめた、ポートフォリオのようなInstagramアカウントです。福岡県地域おこし協力隊新聞部で運営を行っています。

今回の対談参加メンバー



新聞部部員

- 築上町 加藤 詩乃
- 糸田町 松木 響子
- うきは市 三角 俊喜
- NEW MEMBER!! 八女市 古庄 真苗
- NEW MEMBER!! 田川市 池田 駿介



重要伝統建造物群保存地区とは？

「伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存する（※）」ために、価値が高いものとして文化庁によって選定された地区のこと。今回、紹介する地区のほか、福岡県では、うきは市新川田竈と八女市黒木の五ヶ所が認定されている。

引用出典：文化財保護法第九章第142条他

古庄 真苗

八女市地域おこし協力隊
二〇二三年八月着任
担当地区…八女福島

ランドマークである横町家交流館と八女茶カフェの集客力向上のため、新メニューの開発やレンタルスペースのPRのほか、八女福島の観光情報の発信を行っている。

美佐 紗雪梨

朝倉市地域おこし協力隊
二〇二三年八月着任
担当地区…秋月

秋月藩成立四〇〇年記念事業の企画・運営を中心に、秋月の魅力を市内外へPRし、朝倉市全体の観光客の増加と認知度の向上を目指している。

三角 俊喜

うきは市地域おこし協力隊
二〇二三年四月着任
担当地区…筑後吉井

歴史まちづくりプランナーとして、古蹟や史跡、筑後吉井のまちなみ、文化財について子どもたちに来し、伝える活動などを行っている。

それぞれの紹介を終えて…

「同じ重要伝統建造物群保存地区（以下伝建地区）でも特徴が異なるんですね。」

古庄さん（以下古庄）：正直羨ましいと思ってしまう。秋月はネームバリューがあるし、筑後吉井には白壁が並ぶまちなみが残っているし…八女福島は、伝統的な建物と現代の住宅が混在している、実は八女市民から認知度が低いというような課題もあるんですね。みなさんの地区はどうですか？

美佐さん（以下美佐）：全国でも（城下町）としての選定は四地区しかないで、藩祖黒田長興、秋月藩成立四〇〇年記念事業をきっかけに秋月のPRに力を入れていますが、昔から桜と紅葉の名所でもあるので、朝倉市民にとって一度は足を運んだことがある場所だと思います。



三角さん（以下三角）：他の地区

が羨ましいのは隣の芝が青く見えているだけです（笑）。筑後吉井はスイーツのお店が立ち並んでいることもあり、市民含め来る人は多いのですが、道の駅うきはの求心力に比べて、古いまちなみのまちづくりに興味を持っていかというところ…って感じですね（笑）



美佐：うきは市さんはスイーツやフルーツのイメージがすごくあります。朝倉市は川を挟んで隣なので、特産品自体はほとんど同じですが、うきは市さんのようなイメージは持たれていないです。

三角：十年以上前から当時の市長が、お金と人材、それこそ地域おこし協力隊も積極的に取り入れて、観光産業、観光事業を主軸に売り出したことが始まり

「ビジネスチャンスという意味でも、住まいという面でもですが、使える空き家や、使えない空き家はどの程度ありますか？」
美佐：秋月には、若い人が借りたいと思える、いわゆる使える空き家はほとんどないですね。城下町ということもあり家への想いが強い方が多くて、実質空き家になつても活用されない現状があるように思います。一方、秋月に住みたい、お店を出したいという人はかなり多いと聞いていますので需要は高いのでしょうか。

古庄：八女福島の場合は、空き家活用に力を入れているので、問い合わせをすれば見学することとができます。賃貸よりも売買を希望している持ち主が多くて、一筋縄ではいきませんが…

三角：筑後吉井は、状態のいい空き家や近年改修が施された空き家、特に飲食店舗の居抜きなどは出てすぐに埋まってしまつて、争奪戦です（笑）。需要があるという意味では、秋月と似ています。

古いハード（建物）に新しいソフト（事業）が介入する、その対比の構図に、次代を切り拓

と聞いています。

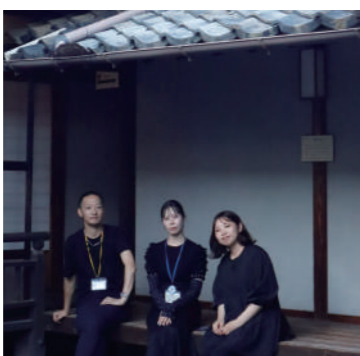
「全国的な知名度で言ったら、八女市さんの八女茶は有名ですよ！」

古庄：たしかに、八女茶のブランド力は大きくてPRもしてますね。お茶の新しい飲み方を提案するような企画もあつたりします。ひとつひとつの企画やお店の魅力が高いからこそ、お店に立ち寄った後にまち歩きしてもらつてという流れを作りたいんですね。八女福島は住んでいる人も多くて、観光地化というよりも、関係人口づくりに力を入れていこうというような話も上がっています。



「八女は移住者も含めて、八女の伝建地区を守ろうという地域コミュニティが強い印象がありますね。」

「協力隊の視点で捉えた空き家課題について！ 新聞部の今後の企画テーマでも、一緒に考えてみませんか!?」
この言葉を各地の協力隊へのメッセージとして、締め挨拶へと変えさせていただきます。本日はありがとうございました。



対談日 令和六年七月二十三日
ライター 松本・三角

もっと詳しく知りたい方は
こちらのQRコードをチェック！



八女市/
八女福島
古庄真苗



朝倉市/
秋月
美佐紗雪梨



うきは市/
筑後吉井
三角俊喜

三角：筑後吉井は、昨今、新規事業者が増えていることもあり、八女のような地域コミュニティ形成に焦点を当てたまちづくりというよりは、市場原理の中で結果的にまちが作られているという感じですが（元々が『吉井銀（がね）』という金融のまちですからね…）。回遊性に関しては、広い駐車場が伝建地区の周縁に近接し、ウォーカブル推進都市を打ち出していることもあり、まちの中を歩く方々をよく目にします。



「秋月はどうですか？」

美佐：秋月も住んでいる人が多いですね。事業者さんもいます。が、秋月の静かな雰囲気が好きの方が多いため、ハイシーズン

や天気の良い土日だけお店を開けることが多かったりします。その他の時期は福岡市近郊などの都市圏でダブルワークしている、という方もいるようです。



三角：ダブルワーク！新しいまちづくりのポテンシャルを感じます。伝建地区というと、観光資源があつていいですねという話になりがちですが、県外やインバウンドの観光客の一番目の目的地には基本ならない（奈良、京都、ひいては太宰府には勝てない）じゃないですか。かといって地元の人がたくさん訪れるというわけでもないし、

「ターゲットイングだったり、新規需要の創出だったりというのは難しい点ながら、挑戦が必要ですね。」

古庄：そうですね。関係人口づ